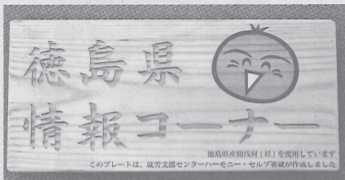


ローソン108店 県情報コーナー

障害者制作 看板設置へ



障害者施設で作った県情報コーナーの看板プレート

県産杉の間伐材使用

コンビニ大手・ローソンの県内108店舗に設置されている県の情報発信コーナーに、障害者が県産杉の間伐材で作った看板プレートが3月から取り付けられる。

2006年に県と包括業務提携を結んだローソンは、店内に観光やイベントのパンフレットなどを並べるコーナーを設けている。1日から専用ラックを順次新しくするのに合わせ、障害者が働く

セルブ箸蔵(三好市池田町)と就労支援センター

・ハーモニー(藍住町)に県を通じてプレート制作を依頼していた。

セルブ箸蔵で間伐材を縦約9寸、横約20寸の大きさにカットし、ハーモニーで「徳島県情報コーナー」の文字をレーザーで掘り、県のマスコットキャラクター・すだちくんをプリントした。プレートには制作した両施設の名称も入れた。

ハーモニーの松下義雄施設長は「多くの方に見てもらえるので、商品の販路拡大や新たな仕事の開拓につながることを期待したい」と話している。(青木寛倫)